

麻しん（はしか）患者の発生について（第2報）

令和8年4月15日（水）に報道資料提供しました、麻しん（はしか）患者について、感染性のある期間に患者が公共交通機関及び施設を利用していたことから、注意喚起を行います。
 報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から本人等が特定されないことがないよう、格段のご配慮をお願いします。

【患者の概要】

性 別：男性
 年 代：20歳代
 居 住 地：鈴鹿市
 職 業：会社員
 発 病 日：令和8年4月3日（金）
 症 状：発熱、下痢、鼻汁、寒気、発疹
 予防接種歴：2回
 渡 航 歴：あり（インド）

【感染性のある期間に患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関及び施設】

日付	利用・滞在時間（目安）	公共交通機関・施設
4月2日（木曜日） から 4月3日（金曜日）	4月2日 19時05分発 4月3日 6時20分着	日本航空 JAL 30便 インディラ・ガンディー国際空港（インド・デリー）⇒羽田空港
4月3日（金曜日）	6時20分頃から 7時00分頃まで	羽田空港第3ターミナル
	7時00分頃から 7時15分頃まで	羽田空港第3ターミナルから第1ターミナルへバスで移動
	7時15分頃から 8時15分頃まで	羽田空港第1ターミナル
	8時15分発 9時15分着	日本航空 JAL 201便 羽田空港⇒中部国際空港
	9時15分頃から 9時40分頃まで	中部国際空港第1ターミナル
	9時40分頃から 10時00分頃まで	中部国際空港第1ターミナルから津エアポートライン中部国際空港高速船乗り場へ徒歩にて移動
	10時00分発 10時45分着	津エアポートライン 中部国際空港⇒津なぎさまち

- ・各施設等への直接のお問い合わせはお控えください。
- ・麻しんウイルスの空気中での生存期間は、2時間以下とされています。
- ・現時点において麻しん患者が利用した施設等を利用されても感染の心配はありません。

【県民の皆様へ】

当該公共交通機関及び施設を同じ時間帯に利用された方は、利用後、21 日間は、麻しんの発症の可能性を考慮し、健康状態に注意してください。なお、麻しん（はしか）を疑うような症状（高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、麻しん（はしか）の疑いがある事を伝えて受診してください。

麻しん（はしか）は感染力が強く、空気感染するため、手洗い、マスクのみでは予防できません。予防には、ワクチン接種が最も効果的です。そのため、以下のことを確認してください。

〈確認事項〉

- ① 2 回の麻しんワクチンの予防接種を受けている。
- ② 過去に麻しんにかかったことがある。
- ③ 既に発症予防に十分な麻しん抗体価を保有している。

※①から③のいずれにも当てはまらない方は、かかりつけ医療機関に相談のうえ、麻しんワクチンの接種を検討してください。

また、定期接種対象者でまだ受けてない方は、早めの接種をお勧めします。

＜定期接種対象者＞

第 1 期：生後 1 2 月から生後 2 4 月に至るまでの間にある者

第 2 期：5 歳以上 7 歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の 1 年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者

【参考】麻しん発生状況：届出数（四日市市保健所分を含む）

年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
三重県	6	22	3	55	0	0	0	0	0	2	1 ^{*1}
全国	165	186	279	744	10	6	6	28	45	265	236 ^{*2}

※1：2026年4月16日（本件含む）現在 ※2：2026年4月5日時点

【各種感染症に関する情報】

三重県感染症情報センター（三重県保健環境研究所内）のホームページで提供しています。

<https://www.kenkou.pref.mie.jp>